

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

在宅介護が求める支援策について



菊池 邦夫 議員
(新和会)

問 在宅介護者家庭に対する支援策の更なる充実、特に高齢者の在宅生活の支援を図ってほしい。また、課題解決のための地域包括支援センターの役割は十分果たされているか。

答 福祉用具給付の種類を増やすとともに、住宅改修事業費の上乗せを行う。第4期計画では、在宅型の施設である小規模多機能型介護事業所、いわゆる通所・訪問・泊まりを組み合わせた地域密着型の施設を3施設整備する。

地域包括支援センターについては、これまでの取り組み等について検証し、更に関係機関団体との連携を図り、高齢化が進む今後に向けて機能強化に取り組んでいく。

問 地域資源を活用した観光振興を図るべきではないか。
山口集落における重要な文化的景観の取り組み状況はどうなっているか。

答 「ふるさと」を感じてもらおうような、人と人が関わるような市民協働によるマンパワーの結集が不可欠であり、触れ合いの場の創出に努める。山口集落は、遠野物語に登場する文化遺産が多くあり、佐々木喜善

の生家は集落に残る唯一の曲り家であり、重要な構成要素でもある。
平成23年度には、国に重要文化的景観選定への申し出を進めたい。

問 公共施設の管理に当たって、行政の効率化のために、行政サービスを民間に委ねる指定管理者制度を導入しているが、外部化に伴う責任のあり方については。

答 県内でも約1,500施設が指定管理者制度によって実施されている。当市では平成21年度現在52の施設を外部委託している。賠償責任の所在、賠償金の分担等については、協定書を取り交わし

明記している。

問 中学校再編成計画との関わりもあるが、遠野中学校の校舎は老朽化が著しく、危険な校舎であり、

早期整備の検討を進めるべきではないか。

答 遠野中学校の早期改築に向け、諸条件の整備に鋭意努力していく。



子供たちと高齢者との和やかな交流風景